

<p>発表テーマ</p>	<p>寄附・協賛がしやすい仕組み・体制づくり ～尾張旭市を想う気持ちをしっかり受け止めるために～</p>
<p>概要</p>	<p>市民プールの改修費用 6 億円を企業経営者の方から寄附していただくニュースは記憶に新しい。また、能登豪雨の被災地 石川県輪島市への支援寄附金の代理受付を実施し、多くの方から寄附をいただいた。</p> <p>本市への寄附受納状況は、令和 2 年度の約 1,500 万円から令和 6 年度には約 7,000 万円と急増しており、その内訳として、一般寄附金、指定寄付金、まちづくり応援寄附金（ふるさと納税）のいずれも伸びを見せている。</p> <p>「なぜ人は寄附するのか」を分析検討することで、寄附・協賛者の想いを生かした市の歳入確保を図ることができ、寄附先への信頼や効果的な情報発信、気軽に寄附できる仕組みが、より多くの寄附につながると考える。</p> <p>そこで本グループは、寄附や協賛に関わる機会が多い商工会や金融機関へのヒアリングを行い、以下の取組について検討した結果を踏まえ、『寄附・協賛がしやすい仕組み・体制づくり』となる提案をしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寄附・協賛のPR方法 （寄附の使い道、ストーリー、発信方法について） ○ 遺贈寄附、企業版ふるさと納税の提携先金融機関の拡大 （市民の利便性の向上と機会創出について） ○ 一般寄附受入マニュアルの整備 （ワンストップの受付体制、事務フローの提案について）